

増穂だより

M A S U O D A Y O R I

高等学校卒業式典号



芝浦工業大学柏中学高等学校

http://www.ka.shibaura-it.ac.jp

〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地

TEL 04-7174-3100(代) FAX 04-7176-1741

編集 総務部

発行日 令和3年3月2日

印刷所 株式会社横濱綜合写真

GIVE ME FIVE!!

— 39期卒業 —

2020年度芝浦工業大学柏高等学校卒業式告辞

校長 野村 春路

歩きながら見えてくること

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとう。保護者の皆様、本日はおめでとうございます。本校は、芝浦工業大学の歴史と伝統を踏まえ、1980年にここ柏市増尾の地に創立され、1990年に男女共学とし、1999年に中学校を併設して今日に至りました。これまで本校は約1万名を超える卒業生を輩出し、みなさんは高校39期生として、その仲間入りをする日を今日迎えました。

さて、昨年2月ごろより全世界に新型コロナウイルスの感染が拡大し、日本においてもここ1年に亘って、感染防止対策に国民が取り組み、みなさんもその中で高校3年次はいろいろな制約のある中、我慢をしながら過ごしてきました。歴史上の過去のパンデミックをみますと、ワクチンの普及などによって集団免疫をつくらないと流行は収束しないということは確かなことですので、21世紀の現在ワクチン創成の技術に革新が起こっているとは言え、現在の状況はしばらく続くと考えられます。大変残念なことです。現状がいつまで続くのかを明示できる人はいません。そのため陸上競技で例えれば、私たちが挑んでいるのが、5,000mなのか1万mなのか、あるいはマラソンなのか、わからないため、ものごとに対する準備や構えというものを一貫して行うことはできません。本来であれば、政府が科学的知見に基づいたロードマップを示すべきですが、世界的にみてもそれは大変に難しいところなのでしょう。そのため多くの方が、自分から動けず現状を受け入れて静観をしていると言ってよいでしょう。

このような状況において、卒業生のみなさんに、今後どうすべきであるかははっきりと伝えることはできないのですが、それでも私が今考えていることを述べてみたいと思います。

一つ目の点は、どうやら私たちは「新しい生活様式」の中で我慢強く長い距離を歩かなければならぬらしい、それも歩く距離もはっきりわからない、このような不透明で不安な時こそ、具体的で地道な修練の積み重ねを行くことが大切になってくるのではないのでしょうか。現在コロナ禍が起爆剤

となって、様々な分野で加速度的に大きな変革を迎えていますので、コロナの災禍が落ち着いた時、この修練をしていたか、いなかったかの格差がその後の個人々々の生き方にコロナ以前の時代よりも少なくない影響を与えていると思います。アフター・コロナが訪れた時、誰かにこう聞かれるのではないのでしょうか。「コロナ時代はいろいろ大変でしたね。その中でも、あなたは何を考え、何を身に着けましたか。」

ここで挙げる修練とは何かと言えば、名著の読破、外国語の習得、資格試験への挑戦など具体的な修練、それもその人が継続的に取り組める修練です。

もう一つ触れておきたいことは、個人が目標を立てる時に、「それをする意味がはっきりわからないから実行しない」、あるいは「それが役に立つかわからないから行わない」とよく言う人がいますが、ところが今は先行き不透明な変革期ですから、自分で実行しながらその意味を見出していくことしかないということです。ものごとを実行している人には、それを実行している過程でそのことの意味が鮮明になってくるものです。一般に試してみるのに問題なさそうな課題であれば、まずはトライすること、それも自分のペースでトライしてみることです。その実行の歩みの中で、その意味が見えてくるものだと思います。そして実行する中での失敗を恐れるのではなく、挑戦しないことが失敗であると考えてください。

みなさん一人一人が、未来を変える力を持っています。その未来に進むために卒業式にあたり、自分にできる修練を継続的に行うこと、その修練の中から次のステップへの意味が見出せるであろうこととお話しました。これらみなさんへのメッセージとしたいと思います。

最後になりますが、残念ながら卒業式にご列席いただけない皆様、すなわちPTAの関係者や同窓会の皆様には、この『増穂だより』を通じて、今後とも本校発展のために、お力添えくださいますようお願い申し上げます。

目次

校長告辞 / 式次第	1 P
受賞の喜び	2 P
巣立ちゆく者たちから	3 P
巣立ちゆく者たちから / 保護者から / 贈る言葉	4 P
贈る言葉	5 P

- 一、開式の辞
- 一、卒業証書授与
- 一、賞状賞品授与
- 一、校長告辞
- 一、送辞
- 一、答辞
- 一、記念品贈呈
- 一、卒業生保護者代表
謝辞
- 一、校歌静聴
- 一、閉式の辞



受賞の喜び

創立者有元史郎記念賞 様々な経験を経て

4組

この度は高校最後に素晴らしい賞を頂き大変嬉しく光栄に思っています。芝柏での生活を最高の思い出にしてくれた友人、先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

高校生活では、様々なことを経験することが出来ました。部活や海外研修などの楽しいこともあれば、勉強のことで悩んだり、新型コロナウイルスの影響で学校に登校することが出来なくなってしまうたりと大変なこともありました。しかしこのような様々な経験を経て今の自分があるのだと思います。

これからも様々な経験をしたいと思います。その中にはきっととても辛く逃げたくなるようなものもあると思います。けれども、そんな辛い経験も自分の成長の糧とし自分の目標に向かい努力していきたいと思えます。

千葉県知事賞 仲間感謝

2組

この度は高校生活の最後に、素晴らしい賞を頂くことができ、大変嬉しく思います。一年生では自学自習研修で仲間と共に勉強をする楽しさを学び、二年生ではオーストラリアに行き、同世代の仲間達と自国の文化を紹介し合い、スポーツを通じて交流することができ、とても充実した日々を送ることができました。また、同じ夢を持ち、夢に向かって必死に頑張ってくれる仲間や、生徒の夢を実現させようと支えてくれ、共に頑張ってくれる先生にも出会うことができました。この三年間はたくさんの人に支えられ、最高の仲間に出会っているのだと幾度となく感じました。時には、辛いことを口に出し、お互い励まし合い、笑って同じ気持ちで話せる仲間がいてくれたことに本当に感謝しています。芝柏での三年間は、一生自慢できる大切な思い出です。三年間支えてくださった先生、友達。本当にありがとうございました。

千葉県私立中学高等学校協会賞 6年間の感謝

5組

はじめに、この度このような賞を頂くことが出来て大変嬉しく思います。芝柏での6年間の学校生活も卒業式をもってフェーズアウトします。残念ながら、高校3年生ではコロナ禍に見舞われましたが、学校側が親身になって下さったため、ここまで無事に卒業式を行うことが出来ました。また、コロナ禍に限らずも、ここまで先生方は絶えず僕らを支えて下さいました。

しかし、この先は全て自らの力のみで窮地を脱しなければいけません。卒業後は、今までの諸々の支えに甘んじることなく、常に精進していきます。おわりに、先生方には心から感謝の気持ちで一杯です。沢山の思い出が詰まった芝柏から卒業してしまうことは寂しいですが、先生方に指導して頂いたことをしっかり胸に抱き、芝柏の誇りを持って卒業させて頂きます。

ありがとうございました。

ここにしかない景色

1組

卒業の時期になると、自然と思い出に浸ってしまいます。この文章を考えている時に耳にした曲に、『出会えたことが嬉しくて なんだか涙が溢れてく 心に元氣無限大 大切な仲間』という歌詞がありました。まさに今の私の心情にぴたりでした。

歌詞にもあるような特別な時間を、芝柏の6年間で過ごすことができました。各々が選択の一つでも変えていれば、この環境は生まれなかったと思います。縁があってこうして巡り会えたことを、今後も忘れずに生活したいです。卒業すると当たり前で過ごしていた日々が失われ、日常での些細なことまで懐かしくなっていくような気がします。しかし、そのような思い出は一生忘れられない大切なものとして、私達の将来に繋がっていくと思います。このようなことを胸に留め、今後の人生に活かしていきたいです。

皆さん、本当にありがとうございました。とても楽しかったです！

高校生活を振り返って

4組

3年間の高校生活を終えて、とても充実した3年間だったと感じました。充実した高校生活を送ることができたのは部活動、勉強、行事など様々なことに全力で取り組んだからだと思います。全力で取り組むことによってそこから得られるものもたくさんあり、成長することができました。また、人との出会いが自分をさらに成長させてくれました。受験の辛い時期なども先生方に支えてもらい、友達と競い、励まし合いながらなんとか乗り越えることができました。高校での3年間で経験したことはこれからの人生に必ず生きてくると思いますし、一生の思い出になると思います。卒業してからはそれぞれ別々の道へ進んでいきますが、高校生活での経験を活かして様々な困難も乗り越えていきたいです。皆さんのおかげで本当に楽しい3年間を送ることができました。ありがとうございました。

3年間ありがとう

2組

芝柏に入学して3年が過ぎ、遂に卒業の時を迎えました。この3年間を振り返ると沢山の人と出会い、オーストラリア研修や文化祭などの沢山の出来事がありました。今となっては、全てかけがえのない大切な思い出です。

高校生活最後の年は、コロナの影響でいつも通りの日常が奪われてしまいました。部活をやりきれずに終えた人、受験勉強に苦勞した人と様々な思いをした人がいると思います。ですがこれらの経験が必ず今後の人生の糧になると思います。

また、これから皆さんバラバラになりそれぞれの道に進み、新たな生活を歩んでいくと思います。そして、その道中で多くの困難が立ちはだかるとは思いますが、決して負けることなく、またどこかで笑顔で会えることを楽しみにしています。

最後に、先生方、家族、先輩後輩、支えてくださった全ての方々、本当にありがとうございました。

芝柏での3年間

5組

芝柏での3年間は私の宝物です。入学した時は知らない人ばかりのクラスでとても緊張し、中学とは違う生活に戸惑いましたが、素晴らしい先生方と友人に囲まれて切磋琢磨でき、文化祭ではクラスで団結して演劇をやり、オーストラリア研修旅行でクラスの仲を深め外国の文化を学び交流できたのは良い思い出になりました。

卒業式を迎え3年間の素晴らしい高校生活が今日で終わりになります。今まで何気なく話していた友達や先生方と会うことができ、芝柏に通う最後の日です。悔いの残らないように1日を楽しもうと思います。そして学校生活で得たものを生かしてこれからの人生を歩んでいこうと思います。今までありがとうございました。



芝柏での6年間

3組

僕は中高6年間この芝柏で過ごしました。この6年間で学んだのは、人間は支え合って生きていくことがとても大切だということです。一人の人間とはまるでジグソーパズルのピースのようなもので、ある部分が出っ張っていたり、欠けてしまっていたり...。そんな部分を批判し合ったり、馬鹿にしたりするのはなく、その凹凸を補い合いながら1つの大きな作品を作る。そこに綺麗な正方形のピースなんてないんです。逆に言えば、自分とピッタリハマるピースは必ずあります。そんな事を気づかせてくれた個性豊かな39期生...いや、一つ一つのピース達には本当に感謝しています。

最後に、芝柏に6年間通わせてくれた両親や学校生活を温かい目で見守ってくれていた先生方のお陰でこのことを含め色々なことを学べました。本当にありがとうございました。

さらなる飛躍を目指して

6組

芝柏で過ごした6年間は、私にとってとても充実したものになりました。学校生活のなかで力を注いだ事は言うまでもなく部活動です。水球で「全国大会に出場する」という目標のもと、辛い練習にも耐え、仲間と励まし合いながら共に頑張りました。学業との両立もあり心身ともに疲れ果て心が折れそうになることもありました。一つの目標に向かう仲間がいたからこそ乗り越えることができました。残念ながら新型コロナウイルスの影響により集大成となるすべての大会が無くなってしまいましたが、互いに励まし合い高め合った時間はかけがえのないものになりました。練習中は鬼にしか見えなかった顧問の先生にも今では心から感謝しています。先生方、水球の仲間たち、クラスメイト、全てが宝物です。6年間の経験を糧にこれからも向上心を持ち続け挑戦していきたいと思えます。『もうこれで満足だという時は、すなわち衰える時である』 - 渋沢栄一 -



巣立ちゆく者たちから

私が決める私の道

7組

卒業を意識する度に、今まで共に学んできた仲間達と別々の道に進むことに少し不安を感じる。しかし、何故だか上手くやっけていけるような気もしている。それは、この6年間で少しずつ、自分の足で自分の人生を歩んでゆく力を付けてきた実感があるからだ。この成長を促してくれたのは、先生や家族、仲間達だった。“人生は選択の連続”とよく聞かすが、6年間で私が岐路に立たされた際には、選択をする後押しをしてくれた。例えば進路選択で迷ったとき、誰も「こうしなさい」とは言わず、「私はどうしたいのか」を私自身が気付くために何度も相談に乗り、沢山の可能性を示してくれた。これからは今まで以上に沢山の選択を迫られることになる。全てにおいて正しい選択をすることは出来ないだろう。それでも、6年間で伸ばしてもらった力を発揮し、たとえ間違えたとしても、「自分で決めたのだから仕方ない」と言いきれような選択をしていこうと思う。

保護者から

39期卒業生 保護者挨拶

39期生学年代表

高校を卒業するにあたり、保護者といたしまして、一言お礼を述べさせていただきます。新型コロナウイルス感染症は、昨年1月以降の子供達の学校生活や受験に大きな影響を与えました。39期生は今年度からの大学入試改革とその度重なる内容変更により翻弄されてきた学年でもあり、皆様様々ご苦労をされたのではないかと思います。そんな中、迅速な対応と適切なアドバイスで子ども達を支え、励ましてくださった校長先生はじめ諸先生方、特に39学期学年団の先生方には、保護者一同心よりの感謝を申し上げます。大変な年ではありましたが、協力して様々な困難を耐え抜き、乗り越えた経験は、今後の人生における困難を乗り越えていく上で得難い体験であったと、前向きに捉えて参りましょう。最後になりましたが、芝浦工業大学柏高等学校の益々の発展と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

贈る言葉

教頭

ご卒業おめでとうございます。「人生に失敗がないと、人生に失敗する」精神科医でエッセイストの斎藤太さんの言葉です。この言葉は、人生を豊かに送るメッセージが示されています。日々の生活のなかで、大小問わず失敗はつきものです。しかし失敗を恐れ行動しなければ、前進はありません。失敗を恐れず積極的な行動が、求められるのです。次に失敗に際し、状況の把握、原因の究明、修正方法の確認など、改善に向けての活動が、成長につながります。まさに「失敗は成功のもと」です。

これからの皆さんが、実り多き人生を送られることをお祈りいたします。

学年主任 4組副担任

卒業おめでとう！3年間みなさんの頑張りや成長を間近に見ることができて幸せでした。寂しくなりますが、振り返らず前を向いて進みましょう。芝柏での出会いと同じように、これからのみなさんにも素敵な出会いが待っているはず。価値観を覆されるような出会いもあるでしょうが、みなさんのことですから心配には及びませんね。多様な考えを受け入れ、認め合い高め合う努力ができると信じています。いずれ私たちの名前を忘れても、言葉や想いが、ささやかでもみなさんの一部となって残ってくれているとしたら、この上ない幸せです。ずっと応援しています。

1組担任

もう、この時期が来てしまったのですね。皆さんと出会った時が、昨日のこのよう。これからの人生、今まで以上のたくさんの経験をすることでしょう。いつまでも、色々な事にチャレンジし続けて下さい。上手く行かなかった時は、立ち止まって我慢をせず、恥ずかしがらず思いっきり泣いてください。そして、その後は笑顔でいられるように進むべき道を探してください。同じ道をチャレンジしてもよし。違う道に進んでもよし。笑顔でいられる最善の道を見つけて下さい。最後によい人生だったなって言える素敵な人生を送ってください。応援しています。卒業おめでとう。

2組担任

人がこの世の中で成功しようとするには、もちろん自分の力も大切ですが決して自分ひとりの力だけでは何事も成し遂げることはできません。他人の力を借り、他人の力に助けられて初めて成し遂げられるのです。そして、他人の力を借りるためには、まず、自分が皆の信頼を受けるようになることです。人に信頼されない人間には、誰も力を貸してはくれないのです。私たちの社会は、大勢の人間が集まって作っているのですから、皆がお互いに信頼しあえる人間になって力を合わせていかなければなりません。人から信頼される人間になれるよう努力し、その姿をいつか見たいものです。

3組担任

卒業と聞いて皆さんは何を思うのだろうか。前途洋々、明るい未来へレッツゴー？経済成長も陰りが見え、実体のない経済だけが空回りしている未来にどうして期待が持てようか（反語）。我々が到達した高原社会において、今後は経済性よりも人間性に根差した活動が求められる時代が到来する（断定）。「格物致知誠意正心修身齊家治國平天下」一人一人が道理を窮め、誠意ある人として身を修めれば、いずれは世界平和が訪れる。主任はかつて言った。「世界平和を実現したい。」永遠に訪れないその漸近線に向かう、平和を求める未知の関数を探究し続けよう。「この世界は残酷だ。そしてとても美しい。」

4組担任

39期の皆さん、卒業おめでとう。君達ほど色々な外的要因に振り回された学年はないと思います。君達はこれら困難な状況を君達なりに克服してきたことを是非誇りに思っほしいし、これからの人生にこの経験は必ず生きてくると思います。さて、芝浦柏を卒業する皆さんに対して、人生の先輩として次の言葉を贈ります。『燕雀安んぞ鴻鵠の志を知らんや』（史記）陳涉世家より）巷の燕やスズメには、大空を飛び回る鴻鵠の志など理解できないという意味です。皆さんには、自らの可能性を拓くべく、目の前のことに捉われず、俯瞰的に物事を見ることが出来る人財に成長して欲しいです。

贈る言葉

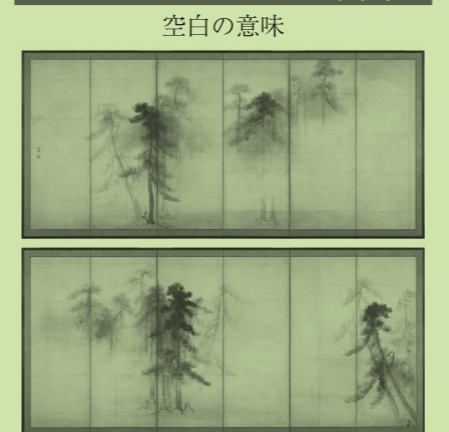
5組担任

ご卒業おめでとうございます。私が教員になって初めて関わった学年、そして初めて担任を持った学年でもあるので、感慨深いものがあります。頼りないところもあったと思いますが、39期の温かさで一緒に成長することができたと思っています。ありがとうございました。大した言葉は送れませんが、その時その時を全力で駆け抜けてください。これからの人生は今まで以上に自由を手にすることになります。そこで何もしないのは大変もったいないです。一つでも多くの新しいことに挑戦する、その一つ一つをやり抜く、そういった経験がさらに人としての深みを皆さんに与えてくれます。さらに魅力的な人になってください。

6組担任

卒業おめでとう！39期の皆さんとじっくり接することができたのは、実は約4か月だけでした。しかし、君たちは素直で優しく、協力的。いろいろと助けられることがあり、この出会いにとっても感謝しています。ありがとう。これからは選択の連続です。授業の選択、職業の選択、結婚の選択…。自分の意志で一つ一つ選ばなくてはけません。世の中には選択肢がない人も数多くいます。選択肢があることに感謝しながら、自分がこれだ！と思う道に自信をもって進んでください。間違った選択はありません。それもまた選択の一つです。39期の諸君の未来が幸多きことを心から願います。

7組担任



長谷川等伯『松林図屏風』
（『This is Media アートがもっと好きになる美術・芸術メディア』

https://media.thisisgallery.com/works/hasegawatohaku_01より引用)

1組副担任

人間万事塞翁が馬、晴れの日には気を引き締め、雨の日にも先を憂うことなく、何事も当たり前と思わず感謝を忘れず、今この時を楽しく送るように心掛けてください。人には尊敬の念を持って関わり、与え、信頼をもたせられる関係を大切に。信念を持って一つのことに打ち込み貫く生き方を。今、君が人生の時、39期生一人ひとりの幸多き楽しい人生を願っています。

2・5組副担任

卒業おめでとうございます。今まで支えてくれた人達への感謝を忘れずに、一生に一度の今日という瞬間を大切に。現在の自分は過去の自分の集大成ですが、将来の自分はほとんど何も決まっています。未来に立ち向かう際、過去の様々な経験が自分自身に希望を与えてくれるでしょう。その希望を胸に、道を切り開き続けましょう。

3組副担任

「千万人と雖も吾往かん」これは、孟子の有名な言葉です。自分の信じた道ならば、たとえ敵が千万人いても、恐れることなく立ち向かっていこう。という意味ですね。皆は明日から、一人ひとり自分の道を歩むことになります。いかなる困難があろうとも、周りに流されず、自分の信じた道を突き進む気持ちを忘れずにいてください。

6組副担任

卒業おめでとうございます。受験勉強という振り分けゲームの中にいると、ともすれば狭視野になります。これからはラディカルに物を見て、沸々とした探求心でもって見極めて、大いに学んでいきましょう。

7組副担任

ご卒業おめでとうございます。最後の1年は特に予想もできないことばかりでしたね。これから先もたくさんの思いもよらないことが起こるでしょう。そうした変化を恐れるのではなく、楽しむ心を持ってください。何事も挑戦です。そうして自分の人生を切り拓いてください。皆さんのこれからの、たくさんの幸せがありますように。

1年次担任

ご卒業おめでとうございます。高校3年の大切な1年間を大きな変化の中で過ごすことになりました。初めて経験する状況をなんとか過ごす中で、その時だから見つけられたものもあったと思います。これからきっと様々な変化が起きると思います。みなさんひとりひとりが自分らしくあって、幸せであることを願います。

1年次副担任

中1、高1、高3と授業やら副担任やらでストレッチがきました。みなさんのノンビリしたところは好きですが、若者らしい「爆発力」がもっと発揮できればイイノニと、失礼ながら思います。あるいは傷つく勇気かもしれません。中年になると、そうもいきません。

1年次副担任

ご卒業おめでとうございます。責任を纏いながら自由を謳歌し、夢や希望を追いつつ困難と挫折を経験し、中身の詰まった人間になってくれることを願います。人懐くくて独自の感性を持ち、個性豊かな皆さんの幸せを祈ります。「毎日が喜び」となりますように。

1年次副担任

卒業おめでとうございます。教員になって初めて受け持ったのが皆さんでした。皆さんのおかげでさまざまなことを学び成長できたなと感じています。これからいろんな選択を迫られるときが来ると思いますが、どんな道を選んでも自分らしく突き進んでください。

2年次副担任

卒業おめでとうございます。みなさんのご多幸をお祈りいたします。

2年次副担任

ご卒業おめでとうございます。2年前芝柏に来たばかりの私も、皆さんのおかげで楽しいスタートを切ることができたのを覚えています。その優しさをぜひ持ち続けて、他人の痛みが分かる人になってください。今後の輝かしい未来をお祈りしています。

